バス事業者、旅客・貨物輸送事業者が求めるシステムの構築から運用までをサポート！㈱神奈中情報システム

第113号（令和5年2月）

神奈中情報通信

㈱神奈中情報システム TEL:0463-22-8804 FAX:0463-22-8815

■■この「神奈中情報通信」は、私たちと何かのご縁があったかたにのみ、差し上げている通信誌です。■■

◆駒大・大八木監督の奥様で寮母の京子さん◆

こんにちは！お世話になっております。神奈中情報システムの米山です。今回は私が担当です。よろしくお願いいたします。

さて、1月2日、3日に行われました第99回箱根駅伝。駒大が2年ぶり8回目の総合優勝を果たしました。去年の出雲駅伝と全日本大学駅伝も制していますので、これで史上5校目の大学駅伝三冠達成です。

ところで、今回、駒大の大八木監督が優勝会見終了後、自ら「今年で監督を退きます。3月で終わりです」と電撃発表をし、それがニュースにもなりました。

大八木監督と言えば、運営管理車からスピーカーを通して飛ばす、厳しくも愛のあるゲキ（「男だろ！」等）が有名です。常勝軍団の監督一筋19年。かつては選手たちへの指導も一方通行だったそうですが、そこから徹底的に対話を重ねる形に変更し、また、練習メニューについても何種類も用意し、選手自らに選ばせるようにするなど、時代に合わせて変化させてきたとのことで、このあたりは私たち企業と同じところがあるなぁと思いました。

ちなみに、退任理由について大八木監督はこう説明されていました。「私も65歳になる。女房（寮母を務める京子さん）も休んでもらいたい。私が退任しないと休んでもらえない」と。私はそれを聞いて、奥様のこともあったのかと思い、京子さんについても調べてみたところ、「選手に食事を作り続けて26年！駒澤大学陸上部寮母・大八木京子さん」という記事が目に留まり、こういう話題こそ埋もれさせちゃいけないよなぁと思いました。（その記事の一部を抜粋し、ご紹介いたします）

大八木監督の奥様である大八木京子さんは、かつて駒澤大学陸上部のマネージャーでした。大八木監督と京子さんは年齢が5つ違いますが、同学年です。実は大八木監督が高校卒業後、家庭の事情で大学進学を諦めざるを得ず、一度、（2枚目へ→）

（続き→） 企業に就職してから駒澤大学の2部に入学している関係で、京子さんと同学年となりました。大学で教員免許を取られた京子さんは高校で講師になりました。月日が流れ、29歳のときに、当時、実業団のヤクルトでコーチ兼選手であった大八木弘明さんとお付き合いされ、そのままご結婚されました。

その後、大八木監督が母校である駒澤大学から声を掛けられ、コーチに就任。その当時、どこの大学もそうだったようですが、30年近く前は寮や合宿所での食事は、栄養バランスのとれた食事が提供されていたわけではなく、選手が自炊をしていたそうです。大八木コーチが就任直後、「食事も簡単なもので済ませたり、いい加減だったりでは強くなるわけがない」とすぐに、妻である京子さんに「寮で学生たちに食事を作ってくれないか」とお願いをしたそうです。

そこから、駒澤大学陸上競技部で食事を作り続ける日々が始まり、26年。2人の娘さんが産まれて、育てながらも食事を作り続けてきました。娘さんがまだ小さいときはおんぶしながら、毎日厨房に立たれていたそうです。また、料理を作るだけでなく、学生が監督から叱られて落ち込んでいれば一声掛けて、それによって学生が立ち直ることができたり、歴代の選手やマネージャーからの信頼も絶大です。

2007年からは2年間、昼間は専門学校に通って急いで帰ってきて、寮の食事作りという生活を送り、栄養士免許を取得。その後、寮で学生たちの食事を作りながらも、福祉施設で5年間、栄養士として献立作成にもあたっていました。

今後は「ゆっくり旅行したい（笑）」とのこと。それだけ大八木監督とともに駒大陸上部に全てを捧げてこられたのが伝わってくる言葉でした。

こういった記事を読み、もちろん大八木監督という立派な指導者があってのことだと思いますが、そういう旦那さんである監督と学生さん達を支えてきた寮母としての京子さんも素晴らしい情熱を持った方だなぁと、また、やっぱりどんな取り組みも、情熱ってとても大事だよなぁと思いました。

■この通信がご不要の方は1枚目をそのままFAXしてくださいますようよろしくお願いいたします■

【発行元】

株式会社 神奈中情報システム

バス事業者、旅客・貨物輸送事業者が求めるシステムの構築から運用までをサポート！

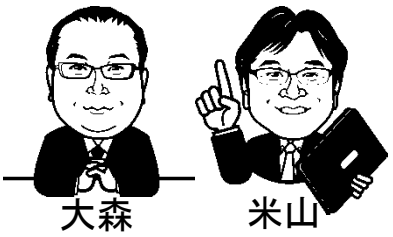
株式会社神奈中情報システム

〒254－0034　神奈川県平塚市宝町3番1号

平塚 MN ビル11階

TEL：0463－22－8804　FAX：0463－22－8815

発行責任者：神奈中情報システム



大森　米山